

島根原子力発電所 放射性廃棄物、使用済燃料及び  
クリアランス対象物の管理状況（2022年8月）

## 1. 放射性気体廃棄物

単位：Bq

		放射性希ガス	放射性ヨウ素 ( $^{131}\text{I}$ )
原子炉施設合計		※1 N D	※2 N D
号機別 内訳	1号機	※1 N D	※2 N D
	2号機	※1 N D	※2 N D
年間放出管理目標値		$4.0 \times 10^{14}$	$2.2 \times 10^{10}$
サイトバンカ建物		—	※2 N D

放射性気体廃棄物のうちトリチウム、全粒子状物質の管理状況（2022年4月～6月）については別紙のとおり。

※1 ND：検出下限値（ $2 \times 10^{-2} \text{Bq} / \text{cm}^3$ ）未満

※2 ND：検出下限値（ $7 \times 10^{-9} \text{Bq} / \text{cm}^3$ ）未満

## 2. 放射性液体廃棄物

単位：Bq

		トリチウムを除く	トリチウム	トリチウム (年度積算値)
原子炉施設合計※5		※3 N D	$2.0 \times 10^8$	$6.1 \times 10^8$
放水口 別内訳	1号放水路	※3 N D	$9.0 \times 10^7$	$2.9 \times 10^8$
	2号放水路	※3 N D	$1.1 \times 10^8$	$3.2 \times 10^8$
年間放出管理目標値		$3.7 \times 10^{10}$	—	※4 $3.7 \times 10^{12}$

※3 ND：検出下限値（ $2 \times 10^{-2} \text{Bq} / \text{cm}^3$ ）未満（ $^{60}\text{Co}$ に対する値を代表として示す）

※4 年間放出管理の基準値を示す。

※5 原子炉施設の合計は、端数処理の関係で一致しない場合がある。

## 3. 放射性固体廃棄物（運転中）

ドラム缶発生量（本）	249
その他の種類の発生量（本相当）	12
ドラム缶保管量（本）	※6 34,468
その他の種類の保管量（本相当）	※7 1,869
焼却灰発生量（本）	0

※6 当月中焼却量（111本）、ドラム缶減容処理量（63本）及び低レベル放射性廃棄物埋設センター搬出量（0本）を差し引いた数値。前月保管量（34,393本）

※7 当月中雑物焼却量（0本相当）及び雑物減容処理量（0本相当）を差し引いた数値。前月保管量（1,857本相当）

なお、容積換算による端数処理の関係で発生および焼却、減容処理の実績が無い場合であっても前月保管量と一致しない場合がある。

4. 放射性固体廃棄物（廃止措置中）

ドラム缶発生量（本）		1 1
その他の種類の発生量（本相当）		0
ドラム缶保管量（本）	※8	6 5 4
その他の種類の保管量（本相当）	※9	4

※8 当月中焼却量（5本）、ドラム缶減容処理量（0本）を差し引いた数値。

前月保管量（6 4 8本）

※9 当月中雑物焼却量（0本相当）及び雑物減容処理量（0本相当）を差し引いた数値。

前月保管量（4本相当）

5. 放射性固体廃棄物（合計）

ドラム缶発生量（本）		2 6 0
その他の種類の発生量（本相当）	※10	1 2
ドラム缶保管量（本）	※11	3 5, 1 2 2
その他の種類の保管量（本相当）	※12	1, 8 7 3
焼却灰発生量（本）		0

※10 容積換算による端数処理の関係で3. 運転中および4. 廃止措置中の合計値と一致しない場合がある。

※11 当月中焼却量（1 1 6本）、ドラム缶減容処理量（6 3本）及び低レベル放射性廃棄物埋設センター搬出量（0本）を差し引いた数値。前月保管量（3 5, 0 4 1本）

※12 当月中雑物焼却量（0本相当）及び雑物減容処理量（0本相当）を差し引いた数値。

前月保管量（1, 8 6 1本相当）

6. 使用済燃料等の保管状況

	1号燃料プール	2号燃料プール	サイトバンカ貯蔵プール
使用済燃料（体）	7 2 2	1, 9 5 6	—
制御棒（本）	2 9	3 2	2 2 4
チャンネルボックス（本）	7 2 2	1, 9 5 6	1, 5 8 2
ポイズンカーテン（本）	1 3	0	1 6 1
中性子検出器（本）	1 7	4 3	4 1 5
その他（m <sup>3</sup> ）	—	—	5 6

7. クリアランス対象物(注1)の管理状況

単位：t

対象物の種類	申請量(注2) (下段：前月比)	確認量		搬出量		保管量 (①－②)
		今月	累計 (①)	今月	累計 (②)	
確認申請 未申請						

注1 法令に基づき「核燃料物質によって汚染された物でないもの」として、国の確認を受ける物及び確認を受けた物。

なお、現在、島根1号機は解体工事準備期間であり、廃止措置に伴うクリアランス対象物は発生していません。

注2 当月における確認申請中の累計量。（確認された量を除く）

以 上

島根原子力発電所 放射性気体廃棄物（トリチウム、全粒子状物質）の管理状況  
（2022年4月～6月）

## 1. 放射性気体廃棄物

（単位：Bq）

		トリチウム			全粒子状物質（4月～6月合計値）		
		4月	5月	6月	$\gamma$ 線放出核種	$^{89}\text{Sr}$ 、 $^{90}\text{Sr}$	全 $\alpha$ 放射能
原子炉施設合計*4		$1.7 \times 10^9$	$2.1 \times 10^9$	$2.9 \times 10^9$	*1 ND	*2 ND	*3 ND
号機別 内訳	1号機	$6.3 \times 10^8$	$7.1 \times 10^8$	$9.2 \times 10^8$	*1 ND	*2 ND	*3 ND
	2号機	$1.0 \times 10^9$	$1.2 \times 10^9$	$1.7 \times 10^9$	*1 ND	*2 ND	*3 ND
年間放出管理目標値		—			—		
サイトバンカ建物		$1.1 \times 10^8$	$1.7 \times 10^8$	$2.6 \times 10^8$	*1 ND	*2 ND	*3 ND

\*1 ND：検出下限値（ $4 \times 10^{-9} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ ）未満（ $^{60}\text{Co}$ に対する値を代表として示す）\*2 ND：検出下限値（ $4 \times 10^{-10} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ ）未満（ $^{90}\text{Sr}$ に対する値を代表として示す）\*3 ND：検出下限値（ $4 \times 10^{-10} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ ）未満

\*4 : 原子炉施設合計値は、端数処理の関係で一致しない場合がある。